

よるこびを力に～有森裕子講演会～



1月29日、「よるこびを力に」の演題で、バルセロナ、アトランタ五輪の女子マラソン競技連続メダリスト有森裕子さんの文化講演会が行われました。

これは、社団法人対馬法人会（白石洋司会長）が主催したもので、約200名の方が会場を訪れました。

「実は私、対馬に来たのは初めてではないんです。」と、講演を切り出した有森さん。対馬には親戚がいて、小学生のとき、対馬を訪れたことがあるそうです。

講演では、小さいとき劣等感でいっぱいだった自分を、小学校時代の恩師が「有森さんね。短所ばかりと言うが、それはあなたしか持っとらんもの。それがないと有森さんじゃないよ。」と励ましてくれたこと。また、走ることの原点になった「がんばれるもの」が「走ること」だと気づかせてくれたこともこの恩師だったと話しました。

また、「自分には人より優れたものは何もない」という思いを原点に、いつも手を伸ばして何かをつかもうと生きてきた有森さん。「世の中にたった一人しかいない自分の生き方にこだわること」、「二度とやってこない一瞬一瞬を精一杯に生きること」と語りました。

会場の方々は、そんな有森さんのすばらしい語り口に真剣に聞き入り、有森さんが、亡くなられた高校の恩師のことを話し、思わず声が詰まったときには、感動して涙を流す方もいて、約1時間半の時間が短く感じる講演会でした。



全国表彰受賞！

～ 巖原少年剣道クラブ～

このほど、巖原少年剣道クラブが、少年剣道指導に貢献があったとして、全日本剣道連盟の「少年剣道教育奨励賞」（全国・267団体、うち長崎県は5団体）を受賞しました。

同クラブは結成されて今年で44年。現在、指導員4名で、小学生21人、中学生15人を週3回指導しています。



女子総合2連覇

～ 郡市対抗県下一周駅伝～

2月18日から3日間行われた第54回郡市対抗県下一周駅伝大会（403.2km・40区間）で、女子総合で2連覇を飾り、男女総合でも、32分31秒の記録短縮で躍進賞を獲得した対馬チームが、23日、対馬市役所を訪れ、大会結果の報告を行いました。

女子区間は、昨年の優勝メンバーから2名が抜け、戦力ダウンを心配されましたが、エースの扇まどかさん（十八銀行）が、スタート区間で区間賞の快走。それを川上菜月さん（雞知中1年）、金成めぐみさん（口加高1年）、桐谷瞳さん（諫早高1年）がタスキをつなぎ、見事に2連覇を勝ち取りました。

